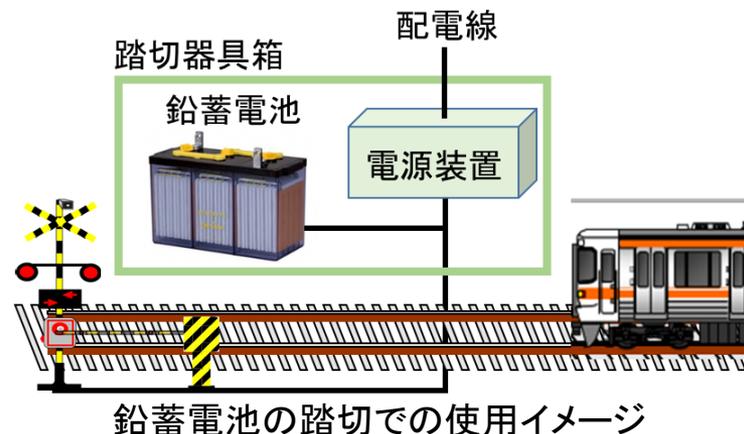


< 現行 >

- JR東海の在来線では、踏切の停電時の電源として使用するため、各踏切設備に鉛蓄電池を設置しています。このうち、耐用年数が過ぎた鉛蓄電池については、毎年一定数を取り替え、廃棄しています。



< 今回の取組み >

- レントが特許として所有する蓄電池の再生技術を活用し、現在は取替えに伴って廃棄している踏切の鉛蓄電池の機能を再生してリユースすることを目指し、検証を開始しました。

【リユースのイメージ】



※レントは、蓄電池を再生処理できる特許(BRS:バッテリーリユースシステム)を所有しています。